

ほけんだより



病児・病後児保育「みどり」
令和7年5月発行

今月のテーマは「**副鼻腔炎について**」です！

子どもの副鼻腔炎(ちくのう症)とは

ちくのう症とは、慢性副鼻腔炎とも呼ばれ、顔の内側にある副鼻腔という空洞にウイルスや細菌が感染して粘膜に炎症が起きる副鼻腔炎を繰り返す病気です。副鼻腔炎の主な原因は、風邪や鼻炎が悪化して副鼻腔にまで炎症が広がることです。

咽頭炎や扁桃炎、虫歯、鼻やその周辺の外傷から細菌が感染し、発症することもあります。子どもの副鼻腔炎は、風邪を引いた結果、急性副鼻腔炎になることが多くみられます。

子どもの副鼻腔炎(ちくのう症)の症状

鼻水が出る

鼻が詰まる

熱が出る



咳が出る・
止まらない

目やにが出る

口臭がする

☆副鼻腔炎の注意点☆

プールは控えめに

膿のような黄色い鼻汁が出ているのであれば、プールの消毒液が鼻やのどの粘膜を傷めてしまうこともあるので控えめにした方が無難です。

風邪を引かないように

風邪を引くことで、副鼻腔炎を繰り返してしまいます。もし風邪を引いてしまったら、こまめに鼻をかむようにしましょう。片方ずつゆっくりやさしくかみましょ。強くかむと中耳炎になることもあるので注意して下さい。